

文化・芸術

「風のサイダーガーデン」

2016年、油彩、カンバス
65・2cm×65・2cm（作家蔵）

福島万里子（1984年〜）

陶酔を誘う、謎めいた絵画。躍動する筆触は生命のきらめきを宿し、どこかエロチックで奇妙な表情を投げかけてきます。

底知れぬサイダーの池があるかのような庭で、少女たちは果てしなく曲がりくねったストローで泡を吸うのでしょうか。吐きだすのでしょうか。液体に身を浸し、ひと夏の夢を見ている―香りが立つ一点です。

福島万里子さんの創作は、夢と覚醒のはざまで、めくるめく想像の粒子を描き出します。見る者の前で現実と妄想が交錯し、描かれた人体が物語をまとい、浮かび上がってきます。

（小此木）

※8日午後2時から福島万里子さんのアーティストトークを展示室で開催します。



《名画の扉》

大川美術館企画展
「桐生のアーティスト2025 KIRYU
Fantasia 桐生幻想曲」から